

1. 専攻の概要

グローバル化が進展するこれからの日本社会にあって、国際社会に対する正しい知見に基づいた国際友好の進展は、不可避的条件である。国際社会の最大の目標である「共生」に至る道を探るために、「国際協力と国際交流」（文化・経済・環境政策面での国際協力と国際交流）、「現代社会と文化」（各国・各地域の文化的多様性と社会の調和）、「現代社会とこども」（教育的な面からの現代社会とこどもの関わり）という三分野を設定している。国際社会システム研究科国際社会システム専攻は、国際的視点のもとに研究を進展させ、これら三分野にわたる総合的知見を身につけた研究を進展させることで、高度な職業的専門人を育成することを教育目的としている。

1) 「国際協力と国際交流」の多文化共生を主たる研究分野とした学生の場合

(1) 入学までのプロセス

本学現代社会学部社会システム学科に入学後、1年次から CASE プログラム上級クラスに参加し、2年次秋学期にはアメリカでセメスター留学を経験。留学時に体験したアメリカの移民国家、格差社会の現状を知り、マイノリティについての研究をしたいと本大学院に入学した。

(2) 修了後の進路

他大学院の博士後期課程に進学し、貧困国におけるこどもの教育や親の経済活動支援についての研究を進めている。将来は JICA などの国際機関で働くことを目指している。

科目区分	1 年次		2 年次	
	科目名	単位数	科目名	単位数
A 類	国際交流と社会システム特殊演習 A I	2	国際交流と社会システム特殊演習 B I	2
	国際交流と社会システム特殊演習 A II	2	国際交流と社会システム特殊演習 B II	2
	国際交流と社会システム特殊演習 D I	2	国際交流と社会システム特殊演習 C I	2
	国際交流と社会システム特殊演習 D II	2	国際交流と社会システム特殊演習 C II	2
	現代社会システム特殊演習 A I	2		
	現代社会システム特殊演習 A II	2		
	社会とこども特殊演習 B I	2		
	社会とこども特殊演習 B II	2		
B 類	国際関係特論 I	2	国際経済特論 I	2
	国際関係特論 II	2	国際経済特論 II	2
	国際交流と社会システム特論 I	2		
	国際交流と社会システム特論 II	2		
単位数		24		12